

「ロータリーの友」について

小林聰一郎 ロータリーの友委員会常任委員

地に足をつけたクラブの活動や、私たちのクラブが集合体としての RI の一員として、世界 120 万にも及ぶロータリアンと手を携えて活動していることを実感できるのは何によってでしょうか。日本においては「ロータリーの友」誌ただ一つです。

その「友」誌が、どのような環境で作られているのかというお話をさせていただきます。

創刊は今から 53 年前、1953 年、昭和 28 年の一月号です。それまで日本は一つの地区でしたから一つのガバナー月信で日本中がカバーできていましたが、それが 2 つになって西と東に分かれるような状況の時でした。別れる寂しさと新しく動いていく期待とが入り混じった雰囲気でしたが、その中でお互いに情報を共有しよう、日本全体の連帯感を失わないでいこう、ということで機関誌の発行が計画されました。東京、横浜、京都、大阪、神戸クラブなどから委員が出て、議論の結果、編集委員は合議制とし東京で発行する、定価は 50 円とするが広告をとって 100 円の価値あるものにする、名前は「ロータリーの友」とするなどの合意を得て、昭和 28 年 1 月に第 1 号が発行されました。1972 年から縦組、横組みになり、創刊から 27 年後の 1980 年、昭和 55 年に RI の公式地域雑誌として承認されました。公式に承認されたことにより編集上の細やかな制約とともに「THE ROTARIAN」誌か「ロータリーの友」誌かのどちらかを購読しなければならないという義務も課せられました。ここから「友」誌は、RI の指定記事を掲載するロータリーの機関誌としての一面と、創刊当時から引き継がれてきた日本における会員相互の交流と情報交換という、いわば同人誌としての一面を合わせ持った雑誌として「横組み記事に学び、縦組の構成に参画する」雑誌としてお手許に毎月届けられてきました。

編集については編集者にロータリーの基本的枠内における自由が認められていますが、委員会の適切な監督を受け入れなければならないと決められています。日本においては「ロータリーの友委員会」がその任務に当たっています。この委員会は委員長、副委員長、特別顧問、顧問、常任委員、地区委員、所長、編集長で構成され、今年 1 月からは南園、重田両現 RI 理事にもお加わりいただき万全の体制を整えました。

地域雑誌における日本での特徴としては、地区委員の存在があります。「友」誌は日本 34 地区ガバナーの委嘱により委員会が発行していますからガバナーの意向が反映されなければなりません。年々ご多忙ですので地区委員がガバナーの代理を務める仕組みになっています。年に 4 回、34 地区の情報共有と交換という観点から全国から東京にお集まりいただき合同会議を開き、また毎号を読んだレポートをお書きいただいています。

さらに重要なことは各クラブにおける雑誌解説の時間です。これは日本における素晴らしい仕組みの一つで、これが機能することによって機関誌としての実効性が上がりますので、各クラブ、月の最初の例会において必ず雑誌解説の時間をお取りくださるようお願いいたします。この編集発行からクラブの雑誌解説までのしっかりとしたラインは、日本の優れたシステムとして RI 理事会においても世界雑誌編集者会議においても高い評価を得ています。

「友」誌は RI に公式に認められているという意味の大きさ、つまり日本における公式なロータリー情報の唯一の窓口であるという責務を深く認識しながら編集しております。印刷媒体と電子情報媒体、Web も地域雑誌に含まれると規定されていますので、その責任の一環として印刷媒体とデジタルとの棲み分けの中でホームページを制作運営しています。ここでは国際協議会や世界大会の行われるマルメーコペンハーゲンの様子などもご覧いただけますし、国内各クラブのホームページ、RI の日本語公式サイトにも入っていただけますのでご活用をお願いいたします。

昨年各地区委員が行ったアンケート結果でも、精読しているという方、ぱらぱらと読んでいる方で90%を少し超えた数字になっています。自分たちのクラブ活動や自分の考え方も独善に陥ることなく相対化できるツールとして、またロータリーの学び考え行動するためにも「友」誌はみなさまの傍らにいつもある役立つテキストではないかと思えます。

若い世代がまた本を読みはじめていると言われていています。情報を自ら蓄え、分析し、読み深めるといった印刷された文字の持つ力が再評価されてきています。「友」誌を作らせていただく立場として、親しみやすく読みやすく、さらには文字の力が持つ特性を実感していただける『豊かな友』誌となるよう、努力を重ねてまいります。次年度のクラブ運営のためにもぜひ「友」誌の活用をお願いいたします。

